

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

- 1 日時
2025年8月16日（土） 9時から12時まで
13時から16時まで
- 2 会場
豊田自動織機 海陽ヨットハーバー
- 3 プログラム名
セーリング
- 4 講師（敬称略）
愛知県ヨット連盟 山田 健一朗、竹内 康人（他4名）
- 5 活動内容

天候に恵まれ、3回目の競技体験を実施しました。前回の復習と今回行う内容の説明を受けた後、講師と一緒に、ヨットに乗り込みました。今回の体験では、アカデミー生一人でヨットを操作し、海面に浮かぶマークを回ることに挑戦しました。

3回目ということもあり、風上に向かう時も、学んだ技術を駆使しながら、上手く斜めに進む様子が見られました。3回の体験を通して、帆で受ける風を動力に進むセーリングの楽しさと、風を読みながら、様々な自然条件に対応する難しさを体験できました。



講義の様子



説明を受ける様子



舵の操作に挑戦



マークを回る様子

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

- 1 日時
2025年8月9日（土） 9時から12時まで
13時から16時まで
- 2 会場
豊田自動織機 海陽ヨットハーバー
- 3 プログラム名
セーリング
- 4 講師（敬称略）
愛知県ヨット連盟 山田 健一朗、本多 哲也（他4名）
- 5 活動内容

今回は、セーリング2回目の競技体験でした。前回の復習とロープの結び方（もやい結び、本結び、巻き結び）について説明を受けた後、講師と、アカデミー生でヨットに乗り込み、真っ直ぐ走ること、方向転換することに挑戦しました。実技用ヨットに乗らない時は、補助ボートに乗り、講師から舵操作の仕方などの説明を聞きました。

アカデミー生は一人でうまくできる人もいれば、講師に手伝ってもらいながらやっと操作できる人等様々でした。午後からは、いい風が吹き渡り、良いコンディションで活動することができました。次回は、海面に浮かぶマークを回る技術に挑戦します。



ロープの結び方学びました。



救護ボートから実技用ヨットに乗り込む様子



舵やセールの操作に挑戦



身体を船外に出してバランスを取りました。

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2025年8月2日（土） 9時から12時まで
13時から16時まで

2 会場

豊田自動織機 海陽ヨットハーバー

3 プログラム名

セーリング

4 講師（敬称略）

愛知県ヨット連盟 山田 健一朗、桑野 安史（他4名）

5 活動内容

セーリング選択者は、午前、午後の2グループに分かれて活動を行いました。始めに「セーリング競技の魅力と目指す未来」と題して講義を受けました。世界を目指すトップアスリートになるために、「時間を管理することや競技を楽しむこと」、「夢や目標設定を明確にすること」、「感謝の気持ちを忘れず、謙虚であること」などが大切であることを学びました。

その後、講師とともに実技用ヨットに乗り込み、風を横や風上、風下から受けながら、舵やセールを実際に操作して帆走しました。実技用ヨットに乗らない時は、補助ボートに乗り、講師から風向きなどの説明を聞きました。

初めての競技体験に緊張しながらも、体験後には笑顔で桟橋に帰ってくるアカデミー生が印象的でした。



講義ではセーリング競技の魅力について学びました。



海に出て風向きの説明を聞きました。



実技用ヨットに乗り込みました。



身体を船外に出してバランスを取りました。